

# 大谷學報

第五十四卷 第一号

昭和四十九年六月三十日発行

真宗の声明についての一考察……………堅田 修 (1)	親鸞の名号本尊……………寺川 俊昭 (12)	ゲーテ研究……………友田 孝興 (25)	自然と認識……………友田 孝興 (25)	ダルマパーラバドラのチベット文法論三十頌註の和訳(上)……………稲葉 正就 (37)	……………稲葉 正就 (37)	安藤俊雄先生を偲ぶ……………横超 慧日 (52)	大谷大学長故安藤俊雄氏を偲ぶ……………横超 慧日 (53)	安藤先生为天台学……………福島 光哉 (55)	立花勝先生を偲ぶ……………寺崎 峻輔 (59)	立花先生を偲ぶ……………寺崎 峻輔 (59)	報……………(61)	昭和四十八年度卒業論文題目一覧……………(63)	『プラマーナ・ミーマンサー』解説研究……………長崎 法潤 (1)	Pm. 1.1.1~1.1.20……………長崎 法潤 (1)
----------------------------	------------------------	----------------------	----------------------	--	-----------------	--------------------------	-------------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	------------	--------------------------	----------------------------------	--------------------------------

大 谷 大 学  
大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第二十五集

『有明集』以後……………仲野 良一

——その思念についての序章——

華嚴経性起品の研究……………鍵主 良敬

樂邦文類と親鸞教學……………大門 照忍

中国の教育改革……………大竹 鑑

——その背景と展望——

中世における地方社寺の勧進……………佐々木孝正

——近江江北の社寺資料による——

大谷大学研究年報 第二十六集

エックハルトの神秘主義における

中心問題……………坂本 弘

信における未来の問題……………本多 弘之

「澈上人文集序」管見……………河内 昭圓

本邦五河川およびわ湖における

附着藻類の生態学的研究……………日下部有信

ジャイナ論理学における kevala ……長崎 法潤

# THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

## CONTENTS

### Articles :

A Study of *Shōmyō* in Shin Buddhism ..... *Osamu Katada* (1)

*Myōgo*, the Foundation of Shinran's Faith ..... *Shunshō Terakawa* (12)

Goetheforschung

Natur und Erkenntnis..... *Takaoki Tomoda* (25)

A Japanese Translation of Dharmapālabhadra's

Commentary on the Tibetan Grammar *Sum cu pa* (1)

..... *Shōju Inaba* (37)

The Japanese Translation of the *Pramāṇamīmāṃsā*

with Annotation Pm. 1. 1. 1~1. 1. 20 ..... *Hojun Nagasaki* (1)

### Obituaries :

In Memory of Dr. Toshio Ando, late President

of Otani University ..... (52)

In Memory of Emeritus Professor, Masaru Tachibana..... (58)

Miscellany ..... (61)

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要な事業

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千五百円とする。

第一〇条 本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和四十八年四月

一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

## 大谷学会役員

委員

大屋 憲一 岩見 至

柏原 祐景 雲井 昭善

坂本 弘 高橋 憲昭

仲野 良一 細川 行信

幡谷 明 山本 唯一

昭和四十九年六月三十日発行

大谷学会

編集兼 佐々木 教悟  
発行者

印刷者 西村 七兵衛

京都市北区小山上総町

大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都二一七八三番  
電話 (〇七五) 四三二一三三一代  
郵便 番号 六〇三